

ロシア極東： 対中国最前線を見る

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターは、共同利用・共同研究拠点として公募による事業を行っています。今回は、その柱の一つである共同研究班「境界・国境研究」に関わる共同研究に関して、セミナーを開催します。ERINA の主任研究員として長年、北朝鮮を中心にしながらも、中国とロシア極東の国境地域を研究してきた三村光弘さんが、コロナ禍のもと、2021 年秋にロシア極東の現地調査を行いました。セミナーは、その成果報告ですが、コロナ禍で変容している国境地域は今、どうなっているのか？ グロデコボ、ウスリースク、ハバロフスク、ポリショイ・ウスリースキー島、レニンスコエなどの近況をお届けします。

講演者 三村光弘 / ERINA (環日本海経済研究所)

司会 岩下明裕 / 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

Online seminar 

開催日時 2022年1月24日(月) 16:30~18:00

参加方法

下記アドレスにて参加登録をお願いします。

登録後に Zoom ウェビナーへの接続アドレスをお送りします。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_lz1BFuNFQNmTrad0Y42bOg

※Zoomを使用したオンライン会議です。インターネット環境とPC、スマホ、タブレット等があればご自宅やオフィスからお気軽にご視聴いただけます。参加費無料。



参加登録フォーム

主催 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

共催 人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究推進事業」

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点 (NoA-SRC)

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 境界研究ユニット (UBRJ)

お問い合わせ：join_us@slav.hokudai.ac.jp (担当・岩下)

